



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 株式会社 九州タブチ (B)

5

## 自主研を通じた人材育成とマネジメントの役割

以下は、経営革新活動を底辺で支えている自主研活動と、活動を支援するマネジメントの役割について、取締役総務部長の鶴ヶ野未央氏にインタビューした結果である。

10

### ●自主研のテーマ設定

自主研といっても、夕方5時から、さあ考えてやろうというのでは、時間ばかりかかるわけで、日頃の仕事の中で出てくる問題をしっかりとみんなが認識しながら、こういう問題があるから、今日、作業が終わってから、少しみんなでテーマを考えてやってみようね、といった繰り返しだと思います。だからとってつけてやろうと思ってやれる活動ではなくて、日々感じている問題・課題を、どうやってリーダーがリーダーシップを発揮してやるかということではないかと思

15

形式的手続きとしては、発表大会が年2回、7月と12月です。これを目指して、まず我々はこういうテーマ、こういうチームで、こういう課題で取り組もうといった自主研の計画をエントリーしてもらいます。テーマによっては、検討していくと、自分たちでは解決できないことがいっぱい出てくるわけですが、こんな時は生産技術のメンバーが応援で各チームに入ります。生産技術のメンバーは、生産技術の中での自主研を自分たちでやりながら、他のチームにもいくつも入っています。

20

25

本ケースは、標記企業の全面的な協力を得て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科准教授の坂爪 裕が作成した。本ケースはクラス討議の資料として用いるためのもので、経営管理の良否あるいは関係者の判断の適否を示唆するものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 坂爪 裕 (2010年4月作成)